

建材マンズリー

THE KENZAI monthly



3

No.534

2010



特集

環境動向——CO₂削減目標達成への政策
木材建材・住宅産業への影響 ①

情報ピックアップ

代理申請で役立つ住宅版エコポイントの申請方法 ⑥

製品紹介

INAX システムバス「ラ・バス」 ⑩

「建材マンズリー」読者アンケート回答結果と
リニューアルのお知らせ ⑬

1月の新設住宅着工 ⑯



TOYOPLY

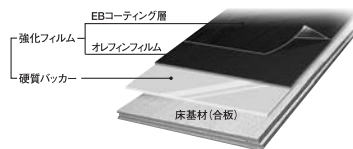
滑りにくく、 傷・汚れに強い!

ペットの歩行に配慮したフローアを求める声が高まる中、愛犬家の皆様のニーズに対応するために開発したのがペットと暮らせるフローリング「シストS+ワン」です。

犬の歩行に配慮した【滑りにくさ】というペット視点の機能と、

【傷・汚れに強い】というユーザー視点の機能を、当社独自の実験や試験を経て両立させた画期的な床材です。

全5柄：幅303×長1818×厚12mmとリフォームフローア（厚6mm）をご用意しております。



EBコーティング (Electron Beam : 電子線)
ウレタンやUVコーティングに比べ、耐擦傷性や耐汚染性などの実用性、品質安定性に優れています。また、製造工程での省エネルギー化やCO₂削減、無溶剤塗工が可能な次世代環境・健康対応型のコーティング技術です。



小型犬の歩行動作を確認

当社はシートフロアの商品開発に際し、小型犬の動作、歩行確認をトレーナーさんの協力の下、繰り返し検証をおこないました。

愛犬と快適に暮らすための床材

ハイパーフローア シストS^{プラス}ワン



SIST-S with Pet 「人とペットが家中どこでも快適に暮らせる」そんな心地よい空間をご提案いたします。



引っかかり傷や汚れに強い
建具



ペット用品の収納に便利な
玄関収納



安全に配慮した
階段セット



ワンちゃんが自由に入出力できる
ペットドア



傷・汚れに強くお手入れしやすい
ウォールセット



室内環境をクリーンに保つ
消臭インテリアボード

東洋フライウッド株式会社

〒460-8428 名古屋市中区錦三丁目10-33 錦SISビル3F
TEL <052> 205-8451 <http://www.toyoplywood.co.jp>

本年4月1日 住友林業クレスト(株)に社名変更致します。

目標達成への政策

木材建材・住宅産業への影響



住友林業(株)山林環境本部
環境経営部
グループマネージャー
大和田 康司

地球環境対策における重要な年となりそうな2010年がスタートしました。今回はいくつかある地球環境問題のうち「地球温暖化」問題に絞り、注目された国連気候変動枠組条約第15回締約国会議（以下 COP15）の結果とその後の動き、そして日本政府の提唱する「2020年までに温暖化ガス、25%削減」の目標達成のための政策と木材建材、住宅産業への影響について住友林業(株)山林環境本部環境経営部の大和田グループマネージャーに話をききました。

COP15

2009年12月7日～19日、デンマーク・コペンハーゲンにおいて国連気候変動枠組条約第15回締約国会議（COP15）が開催されました。法的拘束力のある政治合意を目指し、当初の会期予定を延長して議論が行われましたが、「コペンハーゲン合意」に「留意する」という最低限の合意で閉幕となりました。

「コペンハーゲン合意」とは①世界の気温上昇を科学的な見地から、産業革命開始前に比べ2℃以内に抑制すること、②1月末までに各国が削減目標や排出抑制計画を提示すること、③先進国は2010年～2012年に総額で300億ドル（日本円で2兆7000億円）の途上国支援の実施、④REDD（Reducing Emission from Deforestation and Degradation）のような森林減少の防止や森林吸収源対策に資金がまわる仕組の構築などです。

特にREDDについては、ブラジルやインドネシアなどのように熱帯雨林の森林減少が止まらない地域だけでなく、インドや中国など森林減少が止まった国においても森林管理の強化や植林などで炭素蓄積を増やすことに

よってインセンティブが与えられる「REDDプラス」という考え方も出てきており、その対象国の範囲によっては木材資源供給の減少も想定されるため、この仕組の行方は大変重要と考えられます。

COP15では、結果としては、期待する合意に達することができませんでした。その原因は合意に全会一致を求めたため、参加した国のうち、わずか5か国の反対によって採択できなかったからなのです。反対したのは反米の国、中国の意向を受けて反対した国と言われています。

COP15以降の動き

この「コペンハーゲン合意」に定められた、1月末までに各国が削減目標や排出抑制計画を提示するという国際的約束に対し、当初は中国等の国が提出しないのではという危惧もありましたが、約70の国や地域が数字を提出しました。

これを合計すると世界の温暖化ガス排出量の約81%をカバーするものであり、京都議定書の段階より地球温暖化に向けた世界的な取組が大きく進捗したと言えます。「地球温暖化」については、その科学的信憑性や各国経

国	2020年までの削減目標	基準年
日本	25%	1990年
EU	20～30%	1990年
アメリカ	17%	2005年
カナダ	17%	2005年
ロシア	15～25%	1990年
オーストラリア	5～25%	2000年
ノルウェー	30～40%	1990年
中国	40～45% (GDP原単位)	2005年
インド	20～25% (GDP原単位)	2005年
韓国	30%	2020年時点のBAU比
メキシコ	30%	2020年時点のBAU比
インドネシア	26%	2020年時点のBAU比
ブラジル	36.1～38.9%	2020年時点のBAU比
南アフリカ	34%	2020年時点のBAU比
シンガポール	16%	2020年時点のBAU比

※BAU：全く対策を講じなかった場合

参照元：<http://unfccc.int/home/items/5262.php>

済における利害関係等などの問題はあもの、その防止に向けての取組みは避けて通れないものになってきていることが明白になったと言えます。

また、合意における①世界の気温上昇を科学的な見地から、産業革命開始前に比べ2℃以内に抑制するという事は、5～10年以内に温暖化ガスの排出総量をピークアウトさせるだけでなく、そこから毎年数%ずつ減らしてゆくとということであり、それに世界で取組むことを表明しているのです。

資源・エネルギー問題としての地球温暖化問題

実は、地球温暖化問題と言うと温暖化ガスの削減目標数字にばかりが注目されがちですが、一部の経済学者からは、今、問題とするのは「化石燃料」などの供給の面から、これまでの資源消費型社会が終わりにさしかかっており、今後、世界が持続可能な社会を目指すには「自然エネルギー」などへのエネルギー転換を早急に進め、「化石燃料」を燃やすだけの経済システムから世界がいち早く脱却することが求められている時代が来ている、との指摘があることも傾聴に値すると思えます。

マスコミではCOP15の削減目標数字のこと

が数多く取上げられていますが、世界の主要国はラクイラサミットで2050年までに地球温暖化ガス80%削減を約束しています。それにはエネルギー問題という背景があるからかもしれません。地球温暖化問題をエネルギー問題の側面から捉えてゆくと、新たなビジネスチャンスが見えてくるかもしれません。

いつかはなくなる可能性の高い「化石燃料」へ過度に依存しては、持続可能な社会は望めません。その点では、木材を含むバイオマス資源は適切な管理を行えば持続可能な重要な資源でありエネルギー源だと言えます。

日本政府の目標と対応

さて、次に日本国内の状況について説明します。

日本政府は2009年9月に「主要国の公平で意欲的な目標での合意」との条件付きではありますが、「2020年までに1990年比で25%削減」を対外的に発表しました。そして、COP15、1月末の国連へ提出した削減目標においても修正はありませんでした。この目標数字については産業界を含め各方面から、いろいろと意見が出されています。その主な意見としては「生産を海外に移転しなければならない」「国民負担が増える」というものでした。

確かにこれまでの政府の対応では、「絶対に有名大学に合格するんだ」と言っているだけで、意気込みはわかりますが、どのように勉強して合格ラインに達するのか、いまひとつ達成への道筋が見えてこない状況でした。ですが1月末に日本政府は非公式ながら、25%のうち15%を日本の努力によって削減（これを真水部分とも言う）、10%は排出権の購入や森林整備によって達成する方向であることをリークしました。しかし、すぐに日本の努力によって削減する分を25%、20%、15%とそれぞれ検討すると発表し、行程表づくりに着手しました。そして、3月に地球温暖化対策基本法を国会に提出し、国内での温

暖化ガス排出削減に向けて具体的に動き出しています。

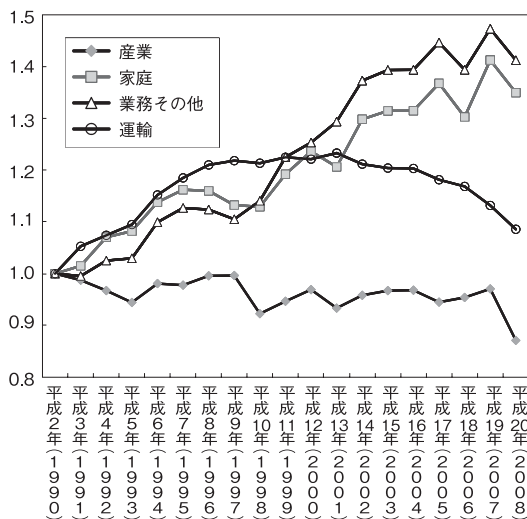
日本の排出状況

ところで、日本における地球温暖化ガスの排出状況はどうかと言えば、京都議定書の第一約束期間の初年度である2008年においては経済の停滞により前年比▲6.2%となっていますが、基準年である1990年比では+1.9%となっており、京都議定書での目標である▲6%を達成するにはまだまだ削減努力が必要です。

排出部門別に見ると、工場などの産業部門による排出は各企業や業界団体による自主削減目標達成への努力により一応の減少傾向を見せていますが、サービスやオフィスなどの業務部門、私達の暮らしによる家庭部門などの民生関連の部門は1990年に比べれば、約130%~140%と大幅に増加しています。

国内二酸化炭素の部門別排出量の推移

(基準年[1990年]のCO₂排出量を1とした場合)



このような日本における地球温暖化ガスの排出状況において、政府のかかげる「2020年までに25%削減」を達成するには、これまでのように産業部門だけの削減努力では達成が難しいのは明白です。ある研究会では「まだまだ民生部門は削減余地が相当残っているし、かつ低コストで削減できる」との発表が

あったそうです。

ですから今後、私達の生活やビジネスに関係する民生関連の部門に対して、排出削減のための「アメとムチ」、言い換えれば「補助金や減税等と規制強化」の両面でいろいろな政策が実施されてくると考えられます。すでに民生関連の部門に対しては、太陽光発電への補助金や電力の買取り、エコカーへの優遇措置、家電、住宅のエコポイント制度などの施策が実施されています。これからはムチ=規制強化の整備面が進められる可能性が高いと考えられます。政府が提唱している排出量取引制度や環境税の導入などが、まずそれにあたるでしょう。

住宅におけるCO₂排出削減

それでは、木材建材・住宅業界への影響はどうか、住宅を商品として考えた場合のCO₂排出の視点から考えてみたいと思います。

まず、住宅におけるCO₂の排出状況の面から検討します。

実際、住宅をライフサイクル(資材調達・建設から解体・廃棄まで)の点からみた場合、CO₂排出は居住時の排出が70%~80%を占めます。そして、居住時におけるCO₂排出をブレークダウンしてみると冷暖房のエネルギー消費が約30%、給湯が約30%、電気機器や照明が30%となっています。

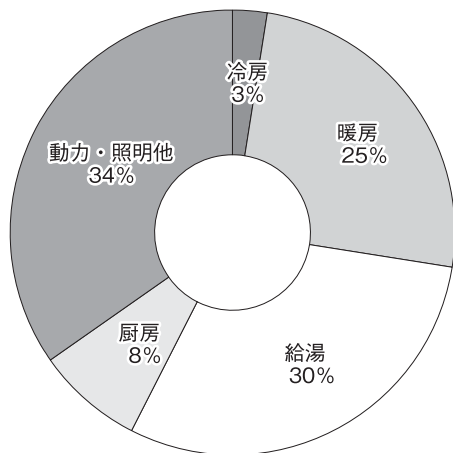
住宅におけるCO₂削減の方法を考える場合、これからは上記3つのエネルギー削減により、トータルとして顧客の居住時に排出されるCO₂を削減できる住宅がますます要求されてきています。その点から住宅産業において①断熱、②高効率機器 ③創エネルギーが今後の重要なキーポイントになります。

これは改正省エネ法において、年間150棟以上供給の建売分譲住宅業者にその基準達成について報告義務が課せられた、省エネトップランナー基準が「断熱基準」+「高効率機器」を組み合わせたもので設定されたことでも

家庭部門の用途別エネルギー消費割合 (2007年度)

(単位：10⁶J/世帯)

冷房	暖房	給湯	厨房	動力・照明他
1,142	11,062	13,226	3,473	15,368



資料：(財)日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」により(財)エネルギー経済研究所推計

出典：2009年度 エネルギー白書
第2部 第1章 第2節 部門別エネルギー消費の動向-2
<http://www.enecho.meti.go.jp/topics/hakusho/2009energyhtml/p2-1-2-2.htm>

明らかだと思えます。なお、この省エネトッププランナー基準においては、「住宅省エネラベリング制度」が設けられており、建築した住宅が基準を満たしている場合、ラベルを表示することが出来るようになっていきます。

近い将来、このように断熱と高効率機器、創エネルギー機器をトータルで組み合わせた住宅の供給を一般の戸建住宅にも求めることが法制化、基準化される、あるいはそれらの住宅に対してはいろいろなインセンティブの供与などが考えられます。

今後、ますます断熱性能向上のための断熱工法の検討、断熱材の需要増加、そして高効率機器であるエコキュート、エコウィル、エコジョーズ、エネファーム、また創エネルギー機器としての太陽光発電、太陽熱給湯器などの普及がさらに進むでしょう。木材、建材流通業者としては、これらの機器に関する知識の向上がさらに必要になると思えます。そして、設備機器販売においては、技術の優れ



た施工部隊の確保が売上拡大に重要な役割を果たすと思えます。

ここで木材・建材業界が忘れがちなのは、断熱や省エネにおける住宅の開口部の役割です。住宅から逃げる熱の約30%は開口部からとも言います。その損失を最小限に抑える意味では、複層ガラスや断熱サッシ、断熱玄関ドアの需要増も期待できます。ここ何十年、木材建材流通業者ではサッシは儲からないということで、取扱をやめていますがトータルでの断熱、省エネ性能が住宅に求められてくるとサッシ関係は1つの強力な営業の武器になることは間違いありません。

LCCM住宅

アメリカをはじめ日本でもLCCM (Life Cycle Carbon Minus) 住宅の研究が開始されています。(アメリカでは「NET-ZERO」住宅)

これは、住宅のライフサイクル(資材調達・建設から解体・廃棄まで)におけるCO₂排出(もちろん居住時も含めて)を「0」あるいは「マイナス」にしようとする研究です。ここに、将来的な住宅の姿がおぼろげながら窺えるかもしれません。ここで検討をしようとしている技術や部材を列挙すると、以下のようなものがあります。

- ・燃料電池
- ・高効率ヒートポンプ
- ・高効率照明
- ・高性能断熱材
- ・高性能断熱遮熱窓、サッシ
- ・高性能潜熱蓄熱材
- ・外装材、窓一体型太陽光発電パネル
- ・建材、部位一体型太陽熱給湯システム

すでに商品化されているものもありますが、今後も続々と実現化されてくると思えます。

実はこの研究で注目するのは、資材調達の段階からのCO₂排出を計算に含めていることであり、その点から建築部材としては国産木材が一番有利になっています。

また、ここで検討商品として取上げられている太陽熱給湯システムは、現在はあまり注目されていませんが、近いうちに注目度が高まる可能性がある商品です。国は自然エネルギーの活用を謳って太陽光発電に対し補助政策を実施していますが、太陽熱給湯システムはエネルギー転換効率がよく（太陽光発電が日光を電気に変える効率は10～15%、太陽熱集熱板による温水への変換は40～60%）、かつ設備も安く、経済性が高い。また政府も補助金の支出を決めています。これらの点から、太陽熱給湯システムを今から手がけておくことは1つのビジネスチャンスになる可能性があります。

リフォーム需要

さらに忘れてならないのは新築の戸建てだけの断熱化や新設備の設置ではCO₂削減目標貢献は限定的であり、圧倒的に戸数の多い既存住宅の断熱化や設備強化がCO₂削減のために非常に重要です。

すでに、リフォームの強化は民主党が昨年のマニフェストで謳っています。そのひとつの具体策が「住宅版エコポイント制度」^(注)になっています。これにとどまらず、今後ますますリフォームに対する施策、インセンティブの増強など、既存の住宅の省エネ化への政策がとられてくると推測されます。

(注)「住宅版エコポイント」の詳細は当誌2月号の特集記事を参照下さい。

政府が補助金などのインセンティブをつけてでも進めようとしているリフォームの主体は「断熱」と「省エネ」「創エネ」ですが、これを機会にその他設備取替えや間取り改修などを積極的に受注してゆくことが売上拡大につながります。その点から、先ほど説明しましたサッシの取替えや二重窓の増設ができ

ることはリフォーム需要取り込みには非常に有利に働くと思います。

国産材の積極活用

日本政府の25%削減において、今回も削減目標の一部を森林吸収源でということ政府が検討している模様ですので、今後、引き続き国内山林の整備や活性化が進むと考えられます。そして、その一助として、国産材の利用が前面に出されてくることは間違いありません。民主党のマニフェストにも、木材自給率 50%達成が謳われています。

今回の国会では「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律案」が提出され、木材利用促進に拍車がかかると思います。その条文には、「国内で生産された木材その他の木材を使用すること」と国産材を優先的にすることや、国だけでなく、地方自治体においても積極的に取組むことを掲げています。このように、国内森林の活性化につながる国産材の利用は、益々活性化してゆくと思います。

なお、この場合、2006年4月に改訂された「グリーン購入法」における、納入木材の合法証明書が必要になってくると思います。今一度、合法証明の仕組を確認しておくことをお勧めします。

CO₂クレジット制度——J-VER制度

最後になりましたが、日本の森林の活性化を促進し、CO₂の吸収量を増加させるひとつの方策として、2008年に環境省はJ-VER制度という、国内だけで通用するCO₂クレジット制度を創出しました。住友林業は宮崎の山林（約200ha）を登録申請し、この2月に正式にCO₂クレジット、約2000トンが発行となりました。

この記事を読まれJ-VERクレジットを活用したオフセット事業に興味のある方がおられましたら、当社窓口の担当か、直接、山林環境本部、大和田（03-3214-3066）までお問い合わせ下さい。

住宅エコポイント 申請受付がスタート

3月8日より、住宅エコポイントの申請受付がスタートした。ポイントの申請は、原則として新築住宅の購入者、新築・リフォーム工事の発注者が行うことになっている。しかし、住宅の所有者から依頼を受けた者であれば、代理申請も可能であるため、発注者に代わって工事施工者が申請をする機会も多くなることが予想される。そこで、今回はリフォームを例に申請方法のポイントをまとめてみた。



リフォームの場合

STEP 1 工事の完了

- 工事の内容が対象となるかどうかを確認する（2月号 P8、9 を参照）
- ポイント発行・交換申請が可能となるのは、**工事の完了後** ※工事が完了するまで、申請はできないので注意。
- ポイントが発行されるのは、**決められた期間内（※）**に行われた工事のみ
※平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日に着手し、平成 22 年 1 月 28 日以降に工事が完了したものが対象。

STEP 2 必要な申請書類を準備

申請書を入手

申請には専用の申請書と所定の添付書類が必要となる。

1. 住宅エコポイント事務局ホームページより申請書書式をダウンロード。

<http://jutaku.eco-points.jp>

2. 申請窓口で入手。※申請窓口の一覧は、1 のホームページで確認できる。

申請書類をチェック

- 1. 住宅エコポイント発行・交換申請書リフォーム用（戸別申請）
- 2. 工事証明書（リフォーム）
- 3. 領収書のコピーまたは契約書のコピー
- 4. 窓の断熱改修をした場合のみ

窓、ガラスの性能証明書 製品型番、製品番号、大きさ、対象地域区分などが記載されたもの

工事写真 工事後、すべての窓ごとに撮影したもの

※現像またはプリントアウトした写真を、申請者氏名・電話番号・工事部位が記入された A4 用紙に貼り付ける。

5. 外壁、屋根・天井または床の断熱改修をした場合のみ

納品書または施工証明書 いずれも製品型番、区分、使用量などが記載されたもの

※ボード系・マット系断熱材の場合は納品書。吹付系・吹込系断熱材の場合は施工証明書。

工事写真

改修部位(外壁、屋根・天井、床)ごとに、工事中の状況を撮影したもの

※現像またはプリントアウトした写真を、申請者氏名・電話番号・工事部位が記入された A4 用紙に貼り付ける。

6. バリアフリー改修をした場合

工事写真

工事後、すべての部位ごとに撮影したもの

※現像またはプリントアウトした写真を、申請者氏名・電話番号・工事部位が記入された A4 用紙に貼り付ける。

7. 申請者の本人確認ができる書類(★注)

※代理申請の場合もこの書類が必要。

代理申請の場合

上記 1～7 に加えて、以下の書類が必要

8. 代理申請者の本人確認ができる書類(★注)

即時交換を利用する場合

上記 1～7 に加えて、以下の書類が必要

9. 即時交換申請書

10. 即時交換申請書(振込口座登録用)

※即時交換の申請が 2 回目以降となる事業者の場合は不要です。

11. 即時交換工事の工事写真(1枚) 即時交換工事(追加工事またはグレードアップ工事)の内容がわかるもの

※現像またはプリントアウトした写真を、申請者氏名・電話番号・工事部位が記入された A4 用紙に貼り付ける。

(★注) 本人確認書類は、以下のいずれかのコピーが必要

- 運転免許証(国際運転免許証は除く)
- 日本国パスポート
- 住民基本台帳カード(顔写真が掲載されているもの)
- 外国人登録証明書
- 身体障害者手帳
- 療育手帳
- 精神障害者保健福祉手帳
- 健康保険証 + [公共料金領収書・クレジットカード・学生証・住民票・外国人登録原票記載事項証明書のうちいずれかひとつ]



STEP 3 申請書に記入

- 「住宅エコポイント発行・交換申請書」に必要事項を記入。
同時に交換する商品なども選び、ポイント交換申請情報欄に記入する。
- 内容を確認したら申請書の署名欄にサインする。

POINT! 申請者が法人の場合も同じ申請書を使用する。下記以外は、個人での申請と同じ内容。

- 1 「申請者氏名」欄には、法人名と担当者名を記入(法人名は氏・名前の枠にとらわれずに記入して構わない)
- 2 「電話番号」欄は担当者の電話番号を記入
- 3 「生年月日」は空欄で構わない
- 4 「申請者の住所」欄は法人の所在地を記入

POINT! 個人での申請書類に加えて、下記の法人の確認証明書類も提出(いずれか1つ)

- 商業登記の現在事項証明書、もしくは履歴事項証明書
- 印鑑証明書

リフォームの場合の記入例
(新築の場合も同様)



STEP 4 申請書類を提出

「住宅エコポイント登録・交換申請書」に必要事項を記入し、申請書と添付書類とあわせて、下記のいずれかの方法で提出する。

1. 全国の申請窓口に参加。 ※申請窓口は、住宅エコポイント事務局ホームページを参照

<http://jutaku.eco-points.jp>

2. 事務局へ郵送。 ※即時交換の場合は、申請窓口に参加。郵送では受け付けていない。

郵送先 〒119-0201 新東京支店留 住宅エコポイント申請係

STEP 5 ポイントの発行・商品のお届け

- 工書類審査後に、ポイントが発行される。
- ポイントが発行されると、申請者宛にポイント通知ハガキが届く。

※ポイントが残っている場合、再度、商品交換を申請が可能。
※即時交換の場合は、工事施工者にポイント相当金額が振り込まれる。

申請方法に関する Q & A

Q 一戸の住宅に関する工事について、複数回に分けてポイントの申請はできますか？

A 新築住宅の場合、ポイントの申請ができるのは一回です。リフォームの場合、複数回に分けて申請することはできますが、一戸あたり30万ポイントが上限となります。

Q 外壁の断熱改修工事を複数回行う場合、その使用量がそれぞれ要件を満たす場合は、ポイントの発行対象とすることができますか？

A 断熱改修について、同じ部位で複数回ポイントを取得することはできません。

また、1階と2階の壁でそれぞれで最低使用量以上施工した場合や、南側と西側など複数面の外壁の断熱改修を行った場合であっても、ポイントの発行は、外壁において1回のみとなります。

Q 工事の一部を下請けの工事施工者に出している場合、工事証明書を発行する主体は元請け工事施工者と下請け工事施工者のどちらになりますか？

A 原則として、元請けの工事施工者となります。

Q 住宅性能評価で、ポイントを取得するための条件を満たしていることを証明する場合について、省エネルギー対策等級以外の評価項目（例えば、耐震等級等）についての要件はありますか？

A 住宅エコポイントにおいては、省エネ対策等級以外の評価項目の条件はありません。

Q 交換したガラスは同じものでも全ての箇所の写真が必要ですか？

A ガラス交換を行った窓ごとに、該当する窓全体が写るように撮影された写真が必要です。

Q 写真は、携帯電話のカメラ機能で撮影したものでいいですか？

A 工事箇所がわかるように撮影していただければ構いません。提出する写真は、ピン트가ずれていたり、工事箇所がわかりにくいものは避けてください。

※ 3月5日時点での開示情報に基づく。
詳細は「住宅エコポイント事務局ホームページ」をご参照ください

申請の受付窓口である住宅瑕疵担保責任保険法人・(株)住宅あんしん保証によると、「受付開始の3月8日以降1週間で、弊社は約60件の申請をいただいています。工期の短いリフォーム物件の申請がほとんどですが、今後は新築物件も増えてくると思われます。住宅エコポイントに対するユーザーの関心は高いです」（中本部長）と、順調な滑り出しのようだ。

平成21年改正省エネ法 次世代省エネ基準対応

建築材料としての安心性能だけではなく、スムーズな住まいづくりまで考えた次世代省エネルギー基準対応のNEWスタンダード製品です。



Mag Confort SERIES マグコンフォールシリーズ
MAG マグ オランジュ
ORANGE

- 用途** 一般住宅用 / 次世代省エネ基準住宅対応
- 仕様** 室内側:防湿気密ポリエチレンフィルム(50ミクロン厚)
室外側:穴あきカラーポリエチレンフィルム
- 特長**
- オランジュはグラスウール全面をポリエチレンフィルムで包み、施工時のチクチク感を解消しました(全面バック品)。
 - 繊維一本一本に撥水処理を施しました。
 - 防湿層の透湿抵抗 $82 \times 10^{-3} (m^2 \cdot s \cdot Pa/ng)$ 、 $\{170 (m^2 \cdot h \cdot mmHg/g)\}$ 以上、JIS A6930(住宅用プラスチック系防湿フィルム)と同等品になります。
 - 耳幅を30mmに設定しています。

防湿層厚 (μ)	熱抵抗値 (m ² ·K/W)	相当密度 (kg/m ³)	寸法 (mm)		商品番号	入数 [枚]	相当 坪数	対応構造				対応部位		対応モジュール			
			厚さ	幅				長さ	軸組	枠組	屋根	天井	壁	尺	M		
50	2.4	高性能16	90	390	2,740	CV 1690 L - 390	10	3.7	壁					軸	壁		
					2,880	CV 1690 J - 390	10	3.9	壁					軸	壁		
				420	2,360	CV 1690 M - 420	10	3.2	屋根	屋根・壁	軸・枠	枠	軸	屋根・壁・天井	屋根		
					2,740	CV 1690 L - 435	10	3.7	壁				軸・枠	軸	屋根・壁・天井	壁	
					2,880	CV 1690 J - 435	10	3.9	壁				軸・枠	軸	屋根・壁・天井	壁	
				475	2,880	CV 1690 J - 475	8	3.4	壁					軸	軸	壁・天井	
50	2.8	高性能16	105	390	2,740	CV 1605 L - 390	8	3.0	壁					軸	壁		
					2,880	CV 1605 J - 390	8	3.1	壁					軸	壁		
					2,740	CV 1605 L - 435	8	3.0	屋根・壁			軸	軸	屋根・壁・天井	屋根・壁		
					2,880	CV 1605 J - 435	8	3.1	屋根・壁			軸	軸	屋根・壁・天井	屋根・壁		
				475	2,880	CV 1605 J - 475	7	3.0	壁					軸	軸	壁・天井	
																	軸

軸...木造軸組工法 枠...枠組壁工法

株式会社 **マグ**

本社 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番地 サンコバンビル
TEL. 03-3288-6303 (営業部) FAX. 03-3288-7362

マグ

検索

商品に関するお問い合わせは...
マグコールセンター



0120-941-390



0120-941-391

<http://www.mag.co.jp>

INAX

ラ・バスがさらにパワーアップ。
操作がラク、お掃除がラク。
ecoにも配慮し、ラクecoバスルームとして誕生。

SYSTEM BATHROOM

La・BATH

戸建住宅用 システムバスルーム



操作のしやすい「新プッシュ水栓」や、お掃除しやすい「キレイ鏡」などを新たに加え、ラ・バスがさらにパワーアップしました。サイズや浴槽カラーのバリエーションも追加ラインアップし、お客さまの多様なニーズにお応えします。

お掃除をラクにするアイデア満載

ラクラクのボタン操作が好評のプッシュ水栓にお求めやすい「デッキプッシュ水栓」が新登場。ゆび一本で操作ができるので、小さなお子さまとの入浴にも最適です。さらに、新お掃除ラクラク機能「キレイ鏡」を標準設定*。白くこびりつく「シリカ汚れ」を防ぎます（*Eタイプを除く）。

「くるりんポイ排水口」「キレイ床」「キレイドア」に加えて、お掃除の強い味方がまた一つ増えました。加えて、操作面をフラットにした「新プッシュ水栓」や、汚れやすいクランク部をなくした「クランクレス水栓」など、お掃除ラクラクアイデアが満載です。



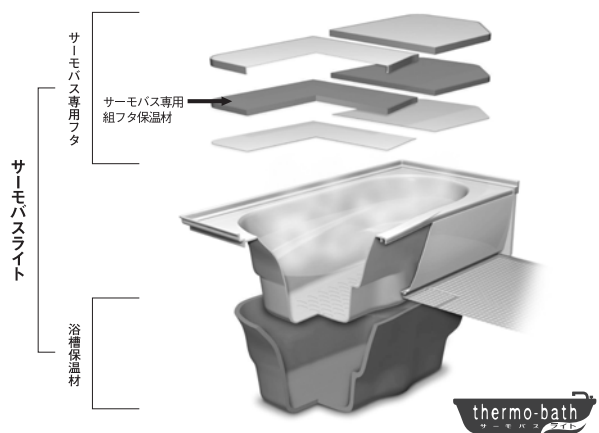
もちろんecoもしっかり実現

入浴でいちばんエネルギーを消費するのは「お湯」です。プッシュ水栓ならこまめに止水ができて、とても経済的。約20%も節約できます。シャワーヘッドはすべて節水仕様ですので、プッシュ水栓と組み合わせれば最大約32%の節約効果があります（年間効果金額は都市ガス：1万1400円、LPガス：1万8300円）。また、忙しい現代、家族の入浴時間はバラバラになりがち。サーモバスライトなら専用フタと浴槽保温材のダブル保温で、お湯をしっかりと保温。4時間経ってもお湯は2℃しか下がらないので、追いだきにかかる光熱費を節約できます。



みんなに安心・快適な入浴タイムを

筋力が弱い人にとって入浴は楽しい反面、大変さも伴います。特に浴室内の移動と浴槽をまたいで入る動作は大変。そこで誰でもラクに楽しく入浴できることを考え、移動をサポートする「フラットサポートバー」や、浴槽をまたぐ動作をサポートし、収納もラクな「腰掛け付サーモフタ」を開発しました。壁パネルや浴槽も新カラーが加わり、デザインバリエーションもさらに充実。お客さまの幅広いニーズにお応えします。



”モザリナ”

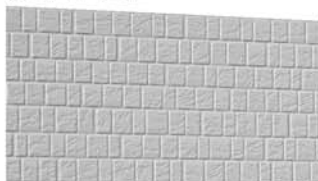
には理由がある

高級感のある小割タイル調のデザイン
縦目地と横目地とのコントラスト
光による多色感の演出
流れを生み出す美しいデザイン

小割タイル調 金属サイディング

「FB型 **モザリナ**」今春発売

ソフトベージュ



オフブラウン



ソフトブラック



株式会社 **チューオー**

屋根と壁の総合メーカー

【ホームページ】 <http://chu-o.com>

本社営業本部

TEL.(0289)76-3263



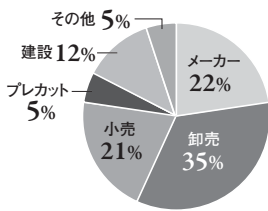
読者アンケート回答結果と リニューアルのお知らせ

昨年12月号の読者アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。ここでは、読者アンケートの結果と、皆様の『建材マンスリー』へのご要望を紹介いたします。また、皆様のご回答を参考にさせていただいた上で、4月号から誌面をリニューアルする予定です。これからも、『建材マンスリー』をどうぞよろしく願いたします。

読者アンケート結果 [有効回答数：56通]

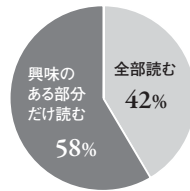
内容について

あなたの業種は？



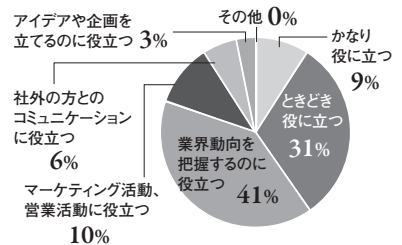
卸売、メーカー、小売を中心に、木材建材業界に携わる幅広い業種の方々にご覧いただいていることが分かりました。リニューアルの際にも、偏りなく皆様に読んでいただける内容を心掛けていきます。

『建材マンスリー』を どれくらい読みますか？



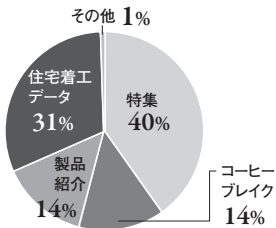
全部お読みになっている方が約4割もいらっしゃいました。今後はさらに多くの方に興味をもていただける内容になるように、読者の皆様の声を反映していきます。

業務の役に立っていますか？



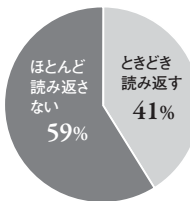
『建材マンスリー』で業界動向をチェックしていただいている方が多いようです。今後は市販の業界誌とは違った視点で切り込んだ記事をお届けします。

特に読むコーナーは？



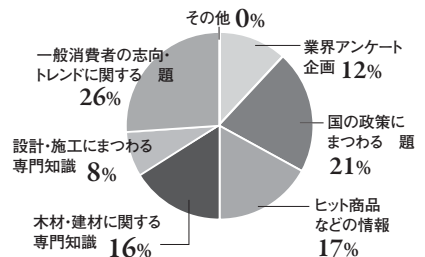
1冊の中でも目玉記事となる特集に人気が集まりました。特集記事は『建材マンスリー』の柱です。「次号も読みたい」と思っていた内容にパワーアップさせていきます。

読み返すことが ありますか？



一度読んだら次号まで読まない方が多いようです。月刊誌のため、旬な内容を提供できるように心掛けている結果ですが、今後は何度も読みたくなる記事内容も検討していきます。

今後取り上げて欲しい 情報は？



一般消費者の志向やトレンドに関する記事を読みたいという声が多く集まりました。お客様から直接声を聞く機会がない方々のために、今後は消費者ニーズに関する情報を提供していきます。

読者アンケート結果 [有効回答数：56 通]

内容について (続き)

どんなときに 読み返しますか？

- お客様の質問、問い合わせに対応したいとき (小売)
- 工場運営の方向性・方針を決めるとき、商品ニーズを知りたいとき (メーカー)
- 法改正について知りたいとき (卸売)
- データを参照したいとき (メーカー)
- 営業担当者に知って欲しい記事があったとき (卸売) など

建材・住宅市場において、あなたが今 最も気になっていることは何ですか？

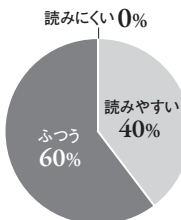
- 顧客ニーズの動向・トレンド (卸売)
- リフォーム市場 (メーカー)
- 長期優良住宅・住宅エコポイント (小売)
- マーケットの業況 (現状・将来) (メーカー)
- 各メーカーの今後の商品展開、新商品に対する取り組み、方向性 (卸売)
- 住宅着工・木建市況の今後の動向 (小売)
- 少子高齢化社会で期待される住宅とは (メーカー) など

要望・メッセージについて

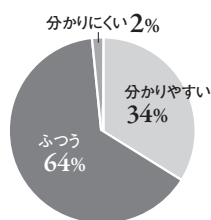
- お客様の質問、問い合わせに対応したいとき (小売)
- 工場運営の方向性・方針を決めるとき、商品ニーズを知りたいとき (メーカー)
- 法改正について知りたいとき (卸売)
- データを参照したいとき (メーカー)
- 営業担当者に知って欲しい記事があったとき (卸売) など

仕様について

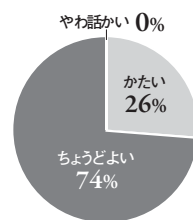
読みやすさ



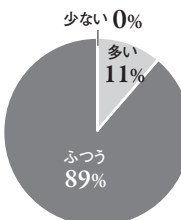
分かりやすさ



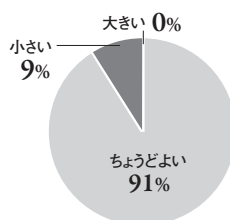
表現



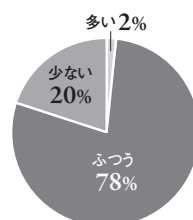
文字



文字の大きさ



写真・イラストの



「表現」「文字量」「文字の大きさ」「写真・イラストの量」に関してはちょうどよいという意見が多いですが、「読みやすさ」「分かりやすさ」に関しては改善の余地があるようです。仕様だけでなく、内容の充実、デザインの見やすさも含め、「読みやすく、分かりやすい」媒体にしていきます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
皆様のご意見をもとに、『建材マンスリー』をリニューアルします！

皆様のビジネスにより役立つ

『**建材マンスリー**』へ進化します！

THE KENZAI monthly

リニューアル
のお知話せ



(イメージ)

発行コンセプト

木材建材業界全体を、もっと元気に！

——業界の動向・将来性を伝え、

業界各社の皆様を盛り上げていく媒体へ

木材建材業界の発展に有益な情報を収集・発信し、業界に関わるすべての方々が元気になるような記事を掲載。皆様のビジネスにより有益な情報を掲載していきます。

編集方針

1.

住友林業の視点を発信

業界情報を発信するだけでなく、住友林業ならではの視点で業界動向を紹介。『建材マンスリー』でしか読めない情報を発信します。

2.

取引先の皆様をはじめとしたステークホルダーを紹介

これまで以上に、取引先企業の皆様にご登場いただき、事業に対する取り組みや方針などを紹介します。

3.

読みやすく、分かりやすい内容に

モノクロが多かった誌面をオールカラーに。サイズも一回り大きく、より読みやすく、分かりやすい誌面になります。図や写真も増やし、効果的な誌面作りをめざします。

コーナー

特集記事

『建材マンスリー』ならではの視点を加え、業界動向を多面的に紹介。読み応えのある特集をめざします。また、読者の皆様からのご要望が高かった消費者トレンドについても紹介していく予定です。

Coffee Break (隔月連載)

住生活ジャーナリスト・藤井繁子さんが独自の視点で紹介する人気の業界情報コラム。今後もお仕事の合間に気軽に読める、お役立ち情報を紹介していきます。

FOR THE FUTURE (隔月連載)

木材建材業界の未来を担う若手の方々にインタビュー。仕事におけるやりがい、誇り、課題などについてお聞きします。

Front Runner ～先端企業に学ぶ～

業界を問わず、業績が好調な企業、革新的な取り組みを行っている元気な企業を紹介。木材建材業界に参考となる情報を紹介していきます。

その他にも、読者の皆様に役立つコンテンツが満載。ぜひご期待ください！

※リニューアル内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

平成22年1月の新設住宅着工

△は減

		1月					12月	11月	平成21年 10月
		対前月比 (戸) (%)		対前年同月比 (戸) (%)					
新設住宅計		64,951	△ 4,347	△ 6.3	△ 5,737	△ 8.1	69,298	68,198	67,120
建築 主別	公 共	1,717	△ 439	△ 20.4	567	49.3	2,156	2,153	2,113
	民 間	63,234	△ 3,908	△ 5.8	△ 6,304	△ 9.1	67,142	66,045	65,007
利用 関係別	持 家	21,144	△ 2,892	△ 12.0	1,087	5.4	24,036	25,441	25,227
	貸 家	27,040	△ 2,564	△ 8.7	△ 4,588	△ 14.5	29,604	29,508	27,638
	給 与 住 宅	491	△ 657	△ 57.2	△ 78	△ 13.7	1,148	572	1,207
	分 譲 住 宅	16,276	1,766	12.2	△ 2,158	△ 11.7	14,510	12,677	13,048
資金別	民 間 資 金	55,491	△ 4,541	△ 7.6	△ 7,412	△ 11.8	60,032	59,191	57,980
	公 的 資 金	9,460	194	2.1	1,675	21.5	9,266	9,007	9,140
	公 営 住 宅	1,251	0	0.0	544	76.9	1,251	1,642	1,433
	住宅金融機構融資住宅	3,847	△ 211	△ 5.2	487	14.5	4,058	4,000	3,990
	都市再生機構建設住宅	359	355	8875.0	204	131.6	4	0	0
	その他の住宅	4,003	50	1.3	440	12.3	3,953	3,365	3,717
構造別	木 造	34,629	△ 6,026	△ 14.8	1,435	4.3	40,655	40,782	38,945
	非 木 造	30,322	1,679	5.9	△ 7,172	△ 19.1	28,643	27,416	28,175
	鉄骨鉄筋コンクリート造	747	610	445.3	120	19.1	137	410	217
	鉄筋コンクリート造	15,672	1,158	8.0	△ 3,864	△ 19.8	14,514	12,173	14,050
	鉄 骨 造	13,722	△ 148	△ 1.1	△ 3,412	△ 19.9	13,870	14,708	13,745
	コンクリートブロック造	58	△ 24	△ 29.3	19	48.7	82	52	39
	そ の 他	123	83	207.5	△ 35	△ 22.2	40	73	124

プレハブ新設住宅戸数 一構造別・利用関係別一

構造別	戸	対前月比		対前年同月比		利用関係別	戸	対前月比		対前年同月比	
		(戸)	(%)	(戸)	(%)			(戸)	(%)	(戸)	(%)
合 計	10,834	159	1.5	△ 1,396	△ 11.4	持 家	4,366	△ 163	△ 3.6	399	10.1
木 造	1,275	△ 49	△ 3.7	△ 222	△ 14.8	貸 家	6,042	367	6.5	△ 1,599	△ 20.9
鉄筋コンクリート造	100	△ 17	△ 14.5	△ 103	△ 50.7	給与住宅	22	△ 45	△ 67.2	△ 44	△ 66.7
鉄骨造	9,459	225	2.4	△ 1,071	△ 10.2	分譲住宅	404	0	0.0	△ 152	△ 27.3

枠組壁工法（ツーバイフォー）新設住宅戸数 一利用関係別一

利用関係別	合計	対前月比		持家		貸家		給与 住宅	対前月比		分譲 住宅				
		対前年同月比		対前年同月比		対前年同月比			対前年同月比		対前年同月比				
		戸	%	戸	%	戸	%		戸	%	戸	%			
木造	7,146	△ 2,835	△ 28.4	2,010	△ 545	△ 21.3	4,197	△ 2,065	△ 33.0	18	12	200.0	921	△ 237	△ 20.5
		△ 21	△ 0.3		174	9.5		△ 110	△ 2.6		9	100.0		△ 94	△ 9.3

6.3%減の6万4,951戸

1月の新設住宅着工

持家は増加したが、貸家・分譲住宅が減少したため、全体で、前年同月比▲8.1%と14ヶ月連続の減少となった。

総戸数では前年同月比8.1%減と14ヶ月連続減少したものの、その幅は縮小基調。

持家は3ヶ月連続の増加。分譲では、一戸建てが同7.6%増と、平成20年9月以来、実に16ヶ月ぶりの増加となった。特に近畿圏での

回復幅（同24.3%増）が大きい。

構造別では、木造が前年同月比4.3%増と、こちらも16ヶ月ぶりに増加となった。

面積は▲3.4%の5,466千㎡で、15ヶ月連続の減少。

また、4号建物（小規模）の建築確認申請・交付数とも3ヶ月連続の増加。

なお、季節調整済年率換算は863千戸。

出張・研修や一時帰国時の滞在先選定、
お困りではありませんか？



フロント付き・家具家電付きの「ドエルイン」なら
ビジネス滞在中も快適にお過ごしいただけます。



DWELL INN

ご予約・詳細は

☎ 03-3350-8771

🌐 <http://sunstepmonthly.com>

 住友林業レジデンシャル株式会社

「株式会社サン・ステップ」は「住友林業レジデンシャル株式会社」に社名が変わりました。

東京支店 マンスリーマンション事業部

国土交通大臣免許(6)第3576号 (財)日本賃貸住宅管理協会会員

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-19-1 ビッグス新宿ビル4F TEL: 03-3350-8771 FAX: 03-3350-9060

今ある窓につけるだけ。

二重の窓で快適性が大幅にアップ。プラメイクEは後付できる樹脂内窓です。

断熱

部屋の熱を逃しにくいから
冷暖房費を大幅に削減。また、
結露を抑える効果があります。

防音

騒音の侵入および室内の
音漏れを抑えます。

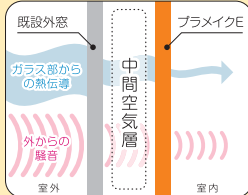
防犯配慮

侵入に時間がかかり、
防犯効果が高まります。



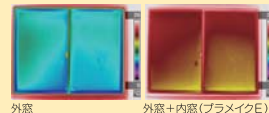
かんたん施工
窓1カ所あたり約1時間の
スピーディー施工

中間空気層が熱・音を遮断。



既設外窓とプラメイクEの間の中間空気層が外気と室内を遮断し、枠一体型の二重サッシと変わらない程の高い断熱効果と防音効果を発揮します。

■窓室内側表面温度の比較 ※社内実験結果



後付樹脂内窓

窓の省エネ・リフォーム減税対象商品

プラメイクE

PLAMAKE EXCELLENT

□住宅版エコポイント対象商品【窓エコリフォーム】□

三協立山アルミ株式会社

本社/〒933-8610 富山県高岡市早川70 TEL.(0766)20-2251

関東住宅建材支店/TEL.(03)5465-7870 東海住宅建材支店/TEL.(052)701-0921 関西住宅建材支店/TEL.(06)6916-0203

<http://www.genkan.net/>